

## 平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	29	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

### 1. 取組名

「夏休み工作教室 in 王寺工業高校」

### 2. 活動内容

夏休みを利用して、地域の小学生を招き、「ものづくり教室」「理科の実験教室」を実習棟で開催している。「ものづくり教室」では、本校の3科により独自のものづくり教室を開催している。

機械工学科では、「連発式輪ゴム鉄砲をつくろう」、電気工学科では、「電子オルゴールを作ろう」、情報電子工学科では「LEDキーホルダーを作ろう」と題してそれぞれ作成する。

また、4年生～6年生を対象にした「理科のおもしろ実験教室」ではポンポン船を作成している。小学生に直接教えるのは高校生の先生。高校生は教えることによって自らも学ぶ姿勢が身につく。また、地域との連携を深めることを目的としている。

指導役の高校生からは、「日ごろ授業中に先生からの指導を何気なく受けていたが、今回は自分が先生役として小学生に教える経験をして、分かり易く教えることの大変さを実感した。これからは授業中もっとしっかり先生の話の話を聞かなければいけないと反省した。」などの感想もあった。



### 3. 成果と課題

この取組は、古くは平成10年頃から夏休みを利用して「まなびスクール」と題して始まったもので、小中学生を対象に開催している。その流れをくみ、現在は、王寺町、王寺南小学校などが取り組んでいる学校地域支援事業の一環として平成24年度より実施している。長い歴史を経て、地元の小学校と本校の夏休みの恒例行事となっている。小学生やその保護者も夏休みの工作等の宿題に役立てられると大好評で、大変喜んでいただいている。本校の生徒たちも、子どもたちとのふれあいや教えることを通して自らも学んでおり、それを学校生活に反映させていることが成果であるとする。